植木病院だより

Vol.23
平成27年9月

発行所 〒861-0136 熊本県熊本市北区植木町岩野285-29
TEL096-273-2111 FAX096-272-2117

熊本市立 植木病院

発行人 内野良仁





看護部長 耕 理千子

今年は長い梅雨、連続した台風の接近、猛暑による熱中症の増加と、例年に違わず異常気象続きの夏でしたが、やっと、秋らしい気配を感じる季節となりました。

平成26年6月に成立した「医療介護総合確保推進法」に基づき、都道府県では本年度より「地域医療構想」の策定が始まりました。「地域医療構想」とは、生産年齢層が減少していく中、高齢者人口が大幅に増加するという環境変化を目前に控え、病床の機能分化・連携を進めるために、医療機能ごとに2025年の医療需要（推計入院患者数）と病床の必要量（必要病床数）を推計し定めるものです。熊本県では平成28年度末までに策定を完了するスケジュールとなっています。2025年問題を抱え、病床機能報告制度により、その役割を明確にしていかなければならず、医療療養病棟を有する当院も地域へつなぐ努力を余儀なくされます。当院は熊本市の北の拠点病院として、地域に根ざす医療を目指して今日まで歩んできました。“地域包括ケアシステム”という言葉を耳にする機会が多くなった昨今、住民が安心して暮らせる地域を目指し、その中で役割を果たすことの責務を日々感じております。

今後も、近隣の医療・介護・福祉との連携をさらに深めるとともに、急性期から在宅まで安心・安全な医療を充実させるために職員一同努力してまいります。今後ともご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

看護部長 耕 理千子

診療情報だより

嚥下内視鏡検査（VE）について

この度当院では、嚥下内視鏡検査(VE) を導入いたしました。

対象となる方は、嚥下（飲み込み）の機能が低下し、誤嚥（ムセ）が起こっていることが疑われる方です。70歳以上になると、元気に見えても4割の人が唾液や水分を誤嚥していると言われています。脳梗塞後遺症など、全身の機能低下があると、さらに嚥下機能は低下し、誤嚥性肺炎の危険性が高くなります。

嚥下内視鏡検査では、痰や唾液の貯留、咽頭への送り込みの評価、喉頭の動き、食塊の通過状態、気道への流入等を確認することで、誤嚥の有無の確認・適切な食事形態のチェック・胃瘻造設の必要性の検討を行います。

具体的には、**①咽喉頭の状態の確認、②着色水や食物を使用した、嚥下状態の確認**の2点を行います。

●誤嚥が疑われる方、胃瘻造設術の適応の方等、まずは御相談ください。

内科　豊田 直以

診療情報だより

肺炎球菌ワクチンの予防接種を実施しています。

平成26年10月1日から、高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンが定期接種となりました。
（平成26年10月1日～平成31年3月31日まで）

※定期接種の対象者は毎年異なるため、接種の機会を逃さないようにご注意ください。
平成27年度は①もしくは②の方が定期接種の対象者です。

対象者①（生年月日）

65 歳となる方	昭和 25 年 4 月 2 日　～　昭和 26 年 4 月 1 日生
70 歳となる方	昭和 20 年 4 月 2 日　～　昭和 21 年 4 月 1 日生
75 歳となる方	昭和 15 年 4 月 2 日　～　昭和 16 年 4 月 1 日生
80 歳となる方	昭和 10 年 4 月 2 日　～　昭和 11 年 4 月 1 日生
85 歳となる方	昭和　5 年 4 月 2 日　～　昭和　6 年 4 月 1 日生
90 歳となる方	大正 14 年 4 月 2 日　～　大正 15 年 4 月 1 日生
95 歳となる方	大正　9 年 4 月 2 日　～　大正 10 年 4 月 1 日生
100 歳となる方	大正　4 年 4 月 2 日　～　大正　5 年 4 月 1 日生

対象者②

60歳から65歳未満の方で、
○心臓、腎臓、呼吸器の機能の低下している方。
○ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の低下などにより日常生活への影響が著しい方。

※肺炎球菌とは
主に気道の分泌物に含まれる細菌で、唾液などを通じて飛沫感染し、気管支炎や肺炎、敗血症などの重い合併症を引き起こすことがあります。
肺炎はわが国の死亡原因の第3位となっています。また、日常的に生じる肺炎の1/4 ～ 1/3は肺炎球菌が原因と考えられています。

※植木病院にて接種可能（予約制）です。各科受付や看護師にご相談ください。

診療情報だより

化学療法室のご案内

平成26年10月より当院でも化学療法チームを立ち上げました。がん治療を施行するにあたって、手術のみならず、化学療法も必要不可欠です。当院でも抗がん剤の点滴、内服で治療を受ける患者さんが増加しています。

抗がん剤の点滴治療を行う患者さんに安全かつ、安心して治療を受けていただきたいと思っています。外来化学療法室では、1日に3名まで治療が可能なようにベッドとリクライニングチェアーを準備しています。また、プライバシーに配慮してカーテンも設置しています。



“より良き治療を提供し患者さんの満足につなげる”ために、医師・看護師・薬剤師・栄養士・リハビリ療法士・地域連携部門など多職種からなる医療チームで、治療をサポートしています。

外来からのご案内

特殊外来

フットケア外来のご案内　（要予約）

内科外来では、糖尿病患者さんのためのフットケア外来を行っております。専門医と糖尿病療養指導士・フットケアの資格を持つ看護師が中心となり行っております。

禁煙外来のご案内　（要予約）

平成 23 年より禁煙に関する総合的な指導及び治療管理を行う禁煙外来を行っております。是非ご活用ください。

呼吸器専門外来のご案内　（要予約）

熊本市民病院呼吸器内科の医師が診察を行っておりますので、事前の予約をお願いします。

脳神経外科外来のご案内　（要予約）

熊本大学医学部附属病院脳神経外科の医師が診察を行っておりますので、事前の予約をお願いします。



▶▶▶▶お問い合わせは　電話 096-273-2111
外来　担当者まで

外来診療のご案内

（平成27年4月1日現在）

診療科＼曜日		診察室	月	火	水	木	金
内科	午前	内科1診察室	勇　聡	勇　聡	勇　聡	勇　聡	三原通晴
		内科2診察室	豊田直以	三原通晴	一森伸二	一森伸二	一森伸二
		内科4診察室			熊本市民呼吸器科医師	豊田直以	
循環器内科	午前	循環器診察室	廣田晋一	廣田晋一	熊大医師	廣田晋一	熊大医師
外科	午前	外科1診察室	松尾彰宣	田中洋平	内野良仁	松尾彰宣	田中洋平
整形外科	午前	整形1診察室	紫垣光久	紫垣光久	紫垣光久	紫垣光久	紫垣光久
脳神経外科（第2・4木曜日）	午前	脳外科診察室				熊大医師	
禁煙外来	午前	外科診察室	担当医(PM)	担当医(AM)	担当医(AM)	担当医(AM)	
午後　総合内科	午後	外科診察室	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
フットケア外来	午後	外科診察室				担当医	

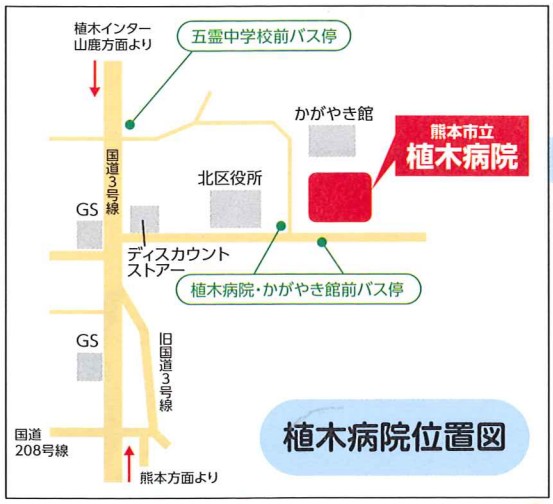
※　脳神経外科は第２・第４木曜日の午前中のみです。
※　水曜日午前の呼吸器専門外来は熊本市民病院からの派遣医のため、時間的制約があり、当日直接来院されても診察対応できない場合があるため事前の予約をお願いします。
※　当院では、再診予約制を取っております。診察時に次回予約を行って下さい。
また、予約変更の電話については、午後にお願いします。
※　午後の総合内科は内科系医師が担当します。

診察受付時間：平　日／ 8：30～11：30
14：00～16：00
休　診　日：土曜日・日曜日及び祝祭日
年末年始（12月29日から翌年1月3日）
※ 急患の方はこれに限らず24時間対応致します。

地域医療連携室のお知らせ

当院では、各医療機関との連携を推進しております。その窓口として「地域医療連携室」がございますので、ご活用くださいますようお願い申し上げます。

■地域医療連携室
電話：TEL096-273-2111（代表）
FAX096-272-2117（代表）



交通アクセス

路線バス　九州産交バス：北区役所・小野泉水　行
熊本電鉄バス：北区役所　行
いずれも「植木病院・かがやき館前」バス停で下車

循環バス　ゆうゆうバス（熊本電鉄バス）植木循環ルート
「植木病院・かがやき館前」バス停で下車

乗用車
・熊本市中心部より30分
・山鹿市中心部より30分
・九州自動車道　植木インターから10分

編集後記

まだまだ日中は暑い日が続きますが、少しずつ秋の気配が近づいているのを感じられます。私は星や宇宙に関することを調べたりするのが好きなのですが、皆さん北斗七星はご存じかと思います。柄杓の形をしたおおぐま座の一部ですね。実はこの柄杓の形は20万年後には今と逆の形になってしまいます。星座の形は変わらないと思っていましたが、星（恒星）も徐々に動いており、人類がいるかわからない遥か未来では今と違う星座が見れるんですね。そう思うとなんだか不思議な気持ちになります。私も一日一日では変化が分からなくても、将来には今とは違う、より良い自分になれたらと思います。

朝晩はさらりと肌に気持ちよい風が吹く季節になりました。秋の夜長、たまには夜空を眺めてみてはいかがでしょうか。

<薬剤部　門久>